

2022年度 事業計画書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

1、事業実施の方針

●新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスの生活や経済への影響は、まだしばらく続きそうです。

諸々の活動で感染予防策を徹底するのはもちろんですが、経済的に打撃を受けた子育て家庭への支援も続けていく必要があります。

これまで食材配布会の主な財源となっていた「コロナ支えあい基金」が終了、今後は自主財源で継続予定です。量や種類、回数は適切か等アンケートを実施し、ニーズを確認、改善していきます。また、アンケートの結果によっては、新たな支援策を検討、実施していきます。

●自然体験型の居場所「子どもの居場所キリフリ」移転

これまで、キリフリ自然学校の協力を得て、週末の自然体験プログラムや、長期休み等のキャンププログラムに子どもたちを送り込んできましたが、2020年にキリフリ自然学校内に子どもの居場所を併設、週1～2日ひだまりを開所してきました。

2021年10月から、県南で在宅医療を推進する医師太田秀樹氏から霧降地内の山荘を借り受け、キリフリの居場所移転を準備してきました。2022年3月から職員が山荘の管理人として住み込み、この4月から「子どもの居場所キリフリ」として、本格的にリニューアルオープンする予定です。

山荘を拠点として、様々な屋外のフィールドに出かけて行って、大自然の中で遊ぶ(活動する)予定です。入浴支援や食事提供は山荘に帰って行います。

●日本財団「子ども第三の居場所助成」決定、キリフリを「子ども第三の居場所」に

子ども第三の居場所助成に応募、採択されました。

子ども第三の居場所とは、生活困窮世帯の小学校低学年の子どもを対象に、定員の20人が平日毎日利用できるタイプの居場所です。基本的な生活習慣を整え、社会性につながるような能力を育てる体験活動、遊び、食事提供を行い、社会性を育むことで、貧困の連鎖を断つことを目的としています。ひだまりと共通点が多いのですが、ひだまりでは少人数で1対1に近い手厚い関わりをしてきました。だいじょうぶとしては、20人からの子どもたちが集まる居場所は未体験で、運営について不安もあります。学童保育や自然体験活動の経験者を雇用して対応していく予定です。

子どもの居場所キリフリの敷地内に、遊んだり食事をとる離れを増築し、毎日20人が快適に過ごせるようにします。また、20人の送迎のため、送迎車も購入します。12月までに準備を進め、1月に「子ども第三の居場所」を開所する予定です。

運営については、引き続き、キリフリ自然学校やワンプレイトの協力を得ていきます。

2、事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係わる事業

①虐待防止・発見のための相談事業

事業内容	日時	実施場所	従事者数	支出額
24 時間対応の相談窓口を開設し、電話や面談による相談事業を実施する。	毎日	・日光市家庭児童相談室 ・子どもと親の相談室	3 人 5 人	10,369,415
	<p>○日光市家庭児童相談室 ケース情報などが完全共有される中、日光市とだいちょうぶが協働で相談対応にあっている。昨年度に引き続き、2人の職員が相談員として、理事長がスーパーバイザーとして従事し、NPOであることの強みを生かしながら対応していく。</p> <p>○子どもと親の相談室 NPO独自の相談窓口として、子どもの年齢や状況などにより市の相談室の枠からはみ出してしまうケースを中心に対応していく。 新型コロナウイルスへの対応として、影響を受ける子育て家庭を支援していく。支援策の柱として、食材配布を継続していく。また、ニーズに応じて新たな支援を検討していく。</p>			

②虐待されている子どもの保護に関する事業

事業内容	日時	実施場所	従事者数	支出額
ショートステイ事業の実施	随時	Your Place ひだまり 虹の家、里親宅、等	2 人（相談員等兼任） 5 人	220,220
	<p>実施内容</p> <p>市のショートステイについては、だいちょうぶが受け皿となり、地域の里親や施設の協力を受けて実施していく。Your Place ひだまりでの実施となる場合、保育士やひだまり支援員が泊まり込み、対応する。 また、行き場のない高校生等の緊急時のステイについても対応する。</p>			

③虐待防止のための啓発事業

事業内容	実施内容	支出額
児童虐待をテーマとした講演会や研修会の企画と運営、講師派遣、等	<p>○講師派遣 他団体や行政からの要請に応じて、講演会やパネルディスカッション等に人員を派遣する。WEB（Zoom 等）での登壇も積極的に対応していく。 随時／日本全国、各所にて／従事者 3 人</p> <p>○食べて遊んで学んで育つ、子ども応援隊 地域の子どもの貧困課題の、多主体によるプロジェクト。企業チームやNPO、学習塾や個人有志で運営している。</p>	266,100

<p>児童虐待をテーマとした講演会や研修会の企画と運営、講師派遣、等</p>	<p>…食べて遊んで学んで育つ、子ども応援隊の続き</p> <p>地域の子どもの貧困課題の解決に向けた、多主体によるプロジェクト。企業チームやNPO、学習塾や個人有志で運営している。</p> <p>日光市の子どもの貧困の現状とその原因、背景を調べ、どうすれば子どもの貧困をなくせるのか検討し、具体的な活動につなげていく。</p> <p><朝カフェ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光東中学校：月2回、始業前に会議室で飲み物、軽食を提供 <p><子どもカフェ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム光の里にて：毎週木曜日 16：00～18：00 <p>施設内交流スペースで飲み物、軽食を提供する。</p> <p>ボードゲームや工作などの遊び、読書、宿題支援を実施する</p> <p>○とちぎフォスタリングセンター研修事業</p> <p>社会的養護の家庭的な養育を推進するため、研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里親向け：フォスタリングチェンジプログラム 里親基礎研修、登録前研修 ・里親支援者向け：フォスタリングパートナー研修 <p>○その他、視察研修の受け入れ、メディア取材の受け入れを随時行う。</p>	<p>4,000,000</p>
--	--	------------------

④児童虐待防止に関する研究事業及び政策提言

事業名	日時	実施場所	従事者数	支出額
<p>虐待してしまう親向けの回復プログラムの開発・実施</p>	<p>9月10日～ 全13回+面接等</p>	<p>パルティとちぎ -男女共同参画センター、等</p>	<p>3人</p>	<p>1,967,330</p>
	<p>実 施 内 容</p>			
	<p>OMY TREE ペアレンツ・プログラム</p> <p>虐待行動に至ってしまった親たちが、自身の心を回復し、子どもへの虐待行動をストップさせるためのプログラム。</p> <p>※今年度11回目。定員は10人で13回連続講座。研修を受けたMY TREE ペアレンツ・プログラム専門スタッフが実施する。</p> <p>今年度、とちの木グループと協力して、初めての父親向けプログラムを実施する。</p>			

⑤子どもが健全に育つ環境づくりを支援する事業

事業内容	日時	実施場所	従事者数	支出額
<p>養育困難家庭への訪問支援</p>	<p>毎日(随時)</p>	<p>・ケースのご家庭等</p>	<p>5人(兼任)</p>	<p>1,277,000</p>
	<p>事 業 実 施 内 容</p>			
	<p>○母親や子どもに寄り添い、家庭を訪問し様々な支援を行う 病院等への送迎・同行支援、掃除等の家事支援、他</p>			

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	支出額
乳幼児の一時的な託児（保育）事業	・月～金	・ひだまりキッズ	・3人	6,921,523
	事 業 実 施 内 容			
	<p>○ひだまりキッズの運営</p> <p>母親の育児疲れや病気、貧困等の理由で支援が必要な乳幼児を預かり、保育園等に入園するなど所属が決まるまでの期間、一時的な保育を行っていく。</p> <p>所属の有無に関係なく、夕方の母親のレスパイトのニーズが高まっており、保育園終了後、入浴をさせ衣類を洗濯し、夕食を食べさせて送るような利用にも対応していく。</p>			

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	金 額
支援の必要な子どもと母子の居場所事業	・月～金	Your Place ひだまり	5人	・Your… 6,806,100 ・高德 6,213,295 ・キリフリ 6,069,200
	・月～金	高德ひだまり	5人	
	・週3回（土日含）	子どもの居場所キリフリ	5人	
	事 業 実 施 内 容			
<p>虐待や貧困などの理由で、家で安心して暮らせない支援の必要な子どもを、放課後居場所に預かり、遊びの支援や食事提供、入浴や洗濯の支援等を行い、当たり前前の生活を体験してもらい、味方となる大人の存在を示していく。</p> <p>・Your Place ひだまり & 高德ひだまり 1日1か所当たりの利用定員を5人程度とし、職員を2~4人配置して対応にあたる。素でいられる安心できる居場所を目指す。</p> <p>・子どもの居場所キリフリ 自然体験型の居場所。キリフリ自然学校とワン・プレイトの協力を得て運営していく。 ※日本財団「子ども第三の居場所」助成採択。 1月開所に向け準備していく：週5開所、定員20人</p> <p>ひだまりを必要とする子どもの特性や子ども同士の相性等を考慮し、3つの居場所を活用して、子どもたちの暮らしを支えていく。</p>				

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	金 額
生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業	随時 居場所は毎土曜	Your Place ひだまり	4人（居場所兼任）	3,266,400
	事 業 実 施 内 容			
	<p>○高校生の中退防止事業 生活困窮家庭の高校生を対象に、高校を無事に卒業し、社会的に自立していくことを目的に、居場所「のんびりカフェ」を運営する。学習支援事業、子どもの居場所の卒業生を主対象に、家庭生活が不安定な中高生を居場所に誘う。居場所を利用する中で築いた職員との信頼関係を基に、情報を収集し個々のニーズに応じた支援を行っていき、課題を解消していく。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、長期休み後に通学型チャレンジ合宿を行う。学校への送り出しを行いながら、週末には自信がつくような自然体験チャレンジも行う。</p> <p>○社会的な居場所づくり事業 ※母子の居場所事業に含む</p> <p>○学習支援事業 ※S&S合同会社に委託</p>			12,150,000

事業内容	日 時	実 施 場 所	従事者数	金 額
社会的自立を目指す母子のステップハウス事業	随 時	高德ひだまり	3人（居場所兼任）	0
	事 業 実 施 内 容			
	<p>離婚や生活困窮など様々な事情で、行き場を失った母子を対象とした、支援付き無料低額の住居を提供する。1ケース3か月を目途に自立に向け準備していただく。利用中に自立に必要な資金を貯めるため、就労の援助をする。必要に応じて育児や家事を一緒に行いながら学んでいただく。</p>			

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	支出
「だいじょうぶ」グッズやその他の物品の販売事業	バザーなどの企画・運営	○バザー（有志実行委員会にて実施） 新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、あかね祭りやシルバー祭りが実施される時は、会場の一角を借りてバザーを実施する。	0